

8-6-2 自主学習システム専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 自主学習システム専門委員会の開催

自主学習教材の審査は、新型コロナウイルスの流行を考慮して、メールによった。4回開催

(2) 令和4年度教材について

RCCM資格登録者の研鑽のため、資格更新登録の要件となる自主学習システムの令和4年度版の自主学習教材について、次のとおり改訂された教材の審査、チェックを行った。

教材は、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を充実させた。

【全面改訂相当】

専門技術分野：水産土木

【部分改訂】

建設一般分野：i-Construction、CIMの動向と電子納品

建設一般分野：「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）とコンサルタンの選定・契約

建設一般分野：建設コンサルタントと著作権

建設一般分野：建設コンサルタントと倫理

専門技術分野：河川、砂防及び海岸・海洋

専門技術分野：港湾及び空港

専門技術分野：電力土木

専門技術分野：道路

専門技術分野：鉄道

専門技術分野：上水道及び工業用水道

専門技術分野：下水道

専門技術分野：農業土木

専門技術分野：都市計画及び地方計画

専門技術分野：地質

専門技術分野：土質・基礎

専門技術分野：鋼構造及びコンクリート

専門技術分野：施工計画、施工設備及び積算

専門技術分野：建設環境

専門技術分野：機械

専門技術分野：電気・電子

専門技術分野：廃棄物

専門技術分野：建設情報

(3) 令和5年度教材について

令和5年1月に、建設一般分野4教材と専門技術分野22教材の作成担当者（建コンの関係委員会、外部機関）に令和5年度の教材改訂を依頼した。

検討に当たって、最新技術、関係法令、技術基準及び維持管理に関する内容の充実を要請した。

2. 次年度の活動について

(1) 継続して、既存の自主学習教材の更新を進める。

(2) 自主学習教材の学習内容やレベルについて、技術者資格登録制度への申請・登録・更新結果を受け、法制度、技術基準、維持・管理などについて充実を図る。

(3) さらに、令和4年度の登録更新講習受講者に対する自主学習システム教材に関するアンケートを分析し、作成担当者に改訂・改善を要請するとともに、建設一般教材の充実について検討を進める。

(自主学習システム専門委員会委員長

水野 雅光)